

稲作
ポイント

**安定収量・安定品質を
目指した健苗づくりを!**



男鹿地区営農センター 土橋 由弥

ハウス管理

●温度管理

育苗箱を並べ終わったら、出芽期の適温である30～32℃を保つように十分な換気を行ってください。32℃以上の状態でハウスを閉じておくと高温障害による発芽不良や徒長の要因に繋がるため、温度変化に注意して換気などの管理を行いましょう。

※ハウスのビニールを新しくした場合は急激に温度が上昇するため、注意が必要です。

●水管理

育苗期のかん水作業をする際は、葉先が巻き始めたり床土が乾いてきたら、早朝にかん水を1回たっぷりを行いましょう。

※午後からのかん水は、地温の低下や過湿状態によって根張りの悪化や軟弱徒長に繋がるため注意してください。

かん水後に露払いを行う際、健苗ローラーなどで苗の先に触れることにより、苗が過剰な徒長をしにくくなります。

病虫害防除

令和5年度の育苗では、「苗立枯病」や「もみ枯細菌病」、「葉いもち病」の被害が多く見られました。育苗期からの病虫害の防除体系を確立させ、健苗育成に努めましょう。



苗立枯病



もみ枯細菌病



葉いもち病

薬剤名	使用量	使用回数	使用時期	適用病虫害
ルーチンアドスピノ箱粒剤	50g/育苗箱1枚	1	播種前または播種時(覆土前)	いもち病、イネドロオイムシ、イネミズゾウムシ、ウンカ類、イネヒメハモグリバエ 他
ツインターボ箱粒剤08	50g/育苗箱1枚	1	播種前から移植当日	いもち病、イネドロオイムシ、イネミズゾウムシ、ウンカ類 他
Dr.オリゼフェルテラ粒剤	50g/育苗箱1枚	1	緑化期から移植当日	いもち病、イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、ニカメイチュウ 他
稲大将箱粒剤	50g/育苗箱1枚	1	移植3日前から移植当日	いもち病、紋枯れ病、もみ枯細菌病、イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、ウンカ類、イナゴ類 他

生産資材・農産物の盗難などに注意!

肥料・農薬や収穫した農産物などの盗難・悪用・流失を防ぐため、施錠できる屋内で適切に保管しましょう